



平成27年10月22日 発行

稲城市選挙人名簿登録者数

(平成27年9月2日現在)

男 34,594 人

女 34,186 人

計 68,780 人

稲城市明るい選挙推進協議会

稲城市明るい選挙推進委員会

18歳選挙権 来年の夏から

改正公職選挙法が成立し、70年ぶりに選挙権が拡大されました。来年の夏の参議院議員選挙には、18～19歳の方も投票できます。本号では、18歳選挙権について理解を深めるため、Q&Aを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



©K.Okawara - Jet Inoue

どうして選挙権は18歳からに引き下げられたのかな？

政治は一部の方だけのためにあるものではなく、いろいろな年代の意見がバランスよく入ってこそ、皆さんのための政治となります。そうした意味からも、今回の法律が変わったことで、若い方がより多く政治に参加してくれることが望まれています。

ちなみに、全国では約240万人、稲城市では約1,600人の有権者が増える見込みです。



明るい選挙とは

国民一人ひとりが政治や選挙に関心を持ち
不正に惑わされることなく、自分の考えで
正しく投票することです。



18歳選挙権 Q&A

来年夏から、選挙権が18歳以上に引き下げられます。
そこで、よく質問される事例のQ&Aです。

Q 誰に投票していいのかわかりません？

A 候補者を選ぶ情報はいろいろあります。

- ・ 選挙ポスター 選挙が始まると各候補のポスターが貼られ、顔ぶれがわかります。
- ・ 選挙公報 候補者の写真や政見、プロフィールが掲載された公報が配布されます。
- ・ インターネット ホームページ等で支持を呼びかける候補者もいます。
- ・ 政見放送 選挙の種類によってはテレビで政見放送が放映されます。



Q 選挙運動って何ですか？

A 特定の選挙で、特定の候補者を当選（または落選）させるために、投票行為を勧めることです。ただし、行ってはいけないこと、行える期間など、一定のルールがあります。

今までは、未成年者（20歳未満）は選挙運動を行うことができませんでしたが、18歳から選挙運動ができるようになります。今では、ホームページやSNSなどインターネットを利用した選挙運動も認められています（メールによる選挙運動は候補者等ではできませんので注意しましょう）。また、18歳未満の選挙権を有していない人は、当然インターネットも含めて選挙運動はできませんので注意が必要です。



Q 選挙なんて関係ない?!

A 選挙は自分にとってまだまだ関係ないと思う方もいると思います。でも、実生活においては、買い物をすれば皆さんも消費税を払っています。こうして私たちが納めた税金の使い道を決めるのが議員です。私たちの貴重なお金の使い道をしつかりとした考えで決めてくれる候補者を選ぶことが大切です。皆さんの意見が反映されるよう投票には必ず行きましょう。

知っておきたい選挙制度

☆ 期日前投票



投票日当日、仕事やレジャーなどで投票できない人は、期日前投票ができます。選挙期日(投票日)に、仕事や旅行などの都合で投票できない人が、選挙人名簿に登録されている市区町村の期日前投票所で投票する制度です。宣誓書(兼請求書)の提出が必要ですが、そのあとの投票方法は、投票日当日の投票とほぼ同じです。選挙期日の公示日(告示日)の翌日から投票日の前日まで、期日前投票ができます。

☆ 不在者投票

入院先の病院や入所している老人ホーム(注)、名簿登録地以外の滞在先の市区町村などで投票する制度です。

まず、事前に請求をし、投票用紙等の交付を受けます。投票は、交付を受けた投票用紙に投票所で記載をし、封筒に入れ、封をして提出することにより行います。

注：都道府県の選挙管理委員会が不在者投票のために指定した病院・老人ホーム等でのみ、その施設で投票ができます。



《平成26年度 稲城市明るい選挙推進協議会・推進委員会活動報告》

- ☆ 明るい選挙推進委員会の開催(年6回程度)
- ☆ 啓発誌の作成・配布 ⇒ 「いなぎ・しろばら」(当誌)の作成・配布
- ☆ 明るい選挙啓発ポスターコンクールの実施 ⇒ 市内の小・中・高校生の作品を5月～9月初めに募集しています。審査終了後、12月頃から市内文化センター等に掲示。
- ☆ 市民祭での啓発活動 ⇒ ブースをかまえて、ぬり絵やこども模擬投票など、こども向けの出し物を実施。
- ☆ 成人式での啓発活動 ⇒ 啓発物品の配布や、20歳代の投票立会人の募集。
- ☆ 選挙時の街頭啓発 ⇒ ポケットティッシュなどを配りながら、投票参加を呼びかけ。
- ☆ 講演会・研修会への参加
- ☆ 明るい選挙推進委員会内部研修会

◎以上を実行するため、各地区で役割を分担して活動しています。⇒(広報)、(日帰り研修)、(市民祭)、(成人式)、(ポスターコンクール作品展示)、(話しあい講座)など



平成27年度『明るい選挙啓発ポスターコンクール』において入選となった方々です。

応募点数 554点

入選点数 29点

平成27年度 東京都入選作品



稲城第四中学校 土屋あずさ



若葉台小学校 高山知奈

平成27年度 稲城市入選

氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年
高橋 ひより	稲城第三小学校	5年	上田 紋加	若葉台小学校	6年
田辺 彩華	稲城第三小学校	5年	川嶋 大智	若葉台小学校	6年
松原 美尋	稲城第三小学校	5年	栗田 淳聖	若葉台小学校	6年
高松 小雪	稲城第七小学校	6年	山田 理紗子	若葉台小学校	6年
山田 要	向陽台小学校	6年	坂口 遥香	若葉台小学校	6年
片平 涼花	城山小学校	6年	小野 優佳	若葉台小学校	6年
田中 宙也	城山小学校	6年	山越 理子	若葉台小学校	6年
間世田 麗	城山小学校	6年	小杉 優太	若葉台小学校	6年
鳥谷部 はるか	若葉台小学校	6年	飯塚 心香	若葉台小学校	6年
諸角 友哉	若葉台小学校	6年	吉田 真桜	若葉台小学校	6年
大友 裕太	若葉台小学校	6年	肥田野 瑛大	若葉台小学校	6年
工藤 温花	若葉台小学校	6年	高山 知奈	若葉台小学校	6年
高橋 璃成	若葉台小学校	6年	歓崎 壮吾	稲城第一中学校	1年
坂本 達哉	若葉台小学校	6年	土屋 あずさ	稲城第四中学校	1年
加藤 潤	若葉台小学校	6年			

(編集後記)

今回のしるばらは18歳選挙権を取り上げました。これを目にした若い人たちが少しでも選挙に興味を持ってくれるとうれしいです。

来年7月の参院選は18歳、19歳、そして20代の若者の皆さん(もちろん30代以上の皆さんも)選挙に行きましょう。

投票所でお待ちしています。

(担当 若葉台)